

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の意見を入れて、重度化対応の理念を追加した。覚えて定着し、実践につなげるのは今後の取り組み課題。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	以前は取り組んでいたが、コロナ禍に入って以来、行えていない。新しい方法を探しつつ、落ち着いたら再開したい。	コロナ禍では取り組めなくて当たり前の状況。ベルマークの取り組みを地域の方にも広げて知ってもらう取り組みをしてはどうだろうか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策のため書面配布のみの場合もアンケート用紙を必ずつけている。年度の初めにアンケートをとり、希望の多かったテーマを取り上げる工夫を行った。	今回、少人数で話し合う時間がありいろいろな意見が出されて互いによく分かってよかった。今後、行事も含めて zoomなどでオンラインでの参加もできるのではないかな。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ対策から日頃の実情まで、役場担当者ともこまめに連絡をとるよう心掛けている。	平生町担当課としても、日ごろから連絡はとれていると思われる。意見や今後についてなど、電話やメール、対面で伝えられていると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティング等で身体拘束や不適切ケアについて取り上げ、意識し続ける取り組みを行っている。施錠はしていないが帰宅願望対応の理解、支援方法を広げていく必要がある。		A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を開催し、ミーティング等で身体拘束適正化のための指針の下に話し合っている。近年、身体拘束は行われておらず、玄関の日中施錠も行っていない。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レポートやミーティング時に虐待について考える時間を設けた。継続して学ぶ必要性を改めて実感できたことも含めて、過去より取り組みができたと感じる。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別レポート研修を取り入れるなど、職員同士の率直な意見が表明できる取り組みを行っている。虐待や身体拘束について月に一回、3名程度で話し合う委員会を継続している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	現在まで権利擁護や後見の支援を必要とする方がおられず、学習の機会がないままである。優先順位としては高くないが機会があれば取り組んでいきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前や申し込み時にはできるだけ細かい説明を行うように心がけている。途中の変更等についても、文書や面談を使って事前の説明を心がけている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に二回、希望者家族との面談を行い、希望等の聞き取りを行っている。要望があれば可能な限り応えるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回希望者家族との面談の機会を設け、意見や要望を聞き、可能な限り対応している。本年度よりホーム独自で家族アンケートを無記名で行い、対応への不安などを拾っていく取り組みを開始した。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に数回個別面談を行う他、日ごろから職員の意見を聞くよう心掛けている。意見を反映していることもあるが、そのサイクルをわかるように説明するまでは至っていない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面談や日頃の対話、ケアの様子から職員の能力を測り、サービス残業などがないよう声をかけ、完全週休2日(正社員)の確保に努めている。加算の取得により、処遇改善にも取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者はミーティングや業務を通じて職員の想いや不安、意見を聞いている。話しやすく相談しやすい職場づくりに努めている他、研修、希望休も配慮している。職員の腰痛予防としてリフトレンタルなど環境改善にも積極的に取り組んでいる。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	職員の個性や日頃の思考、行動を把握し、それぞれにあった研修を受講するよう勧めている。資格取得に関しても費用助成、スケジュール配慮など行って支援している。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>コロナ禍のため web 研修を中心に、段階を踏まえた研修を受けられるようにしている。</p> <p>内部研修は毎月のレポートをベースにミーティング等を通じての振り返り他、必要に応じて個別指導している。新人はOJTにより安心感が得られるトレーニングができています。シフトも無理がなく完全週休二日がほぼ守られ、突発休も対応している。</p>
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	管理者やケアマネは機会があるが、その他の職員が参加する場面は確保できていない。機会も少なく、今後の課題である。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	全介助を要する方が非常に多く「一方的でなく共に」が難しい現状ではあるが、個別でみると可能な方とは一緒に家事を行うなどしている。今後「共に」という視点について情報を収集し、パターンを広げていきたい。			
15	馴染みの人や場所との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍であっても、可能な方法を増やして面会を促し、家族との関係保持に努めている。ドライブ等の行先も所縁の地を選んで通るなどの支援を行っている。	入居前に生活歴を聞き取ってから支援している。子どもやペット、音楽など思い出して元気になれる物に触れる機会があるとよいと思う。プライバシーへの配慮としては実行前に家族に一報入れて了解が得られればよいのではないか。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に自由に過ごして頂いているが、全体の流れに合わせていただくことも多い。意思疎通が難しい方は、表情などに気を付けることで意向把握と理解している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が記録、共有した情報、利用者の様子、家族の意向を踏まえてはいるが、作成作業に直接関わっているのは管理者とケアマネのみとなっており、取り組み方には改善の余地を残している。	現在はご家族に承認いただく形になっているが、日常的に関わりのある訪問看護の意見を入れる欄を追加、プランの事前郵送でご家族がじっくり考える時間を設けるなどの工夫もできると思う。薬の変更や状態の変化などが著しい時期は医師の意見も求めればよいと思う	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の記録から情報を共有してプランに活かすようにしている。ケアマネジャーと管理者が立案作成しているが、案の段階で職員も確認できる手順を挟むことで、さらに計画が充実したものになる可能性があると思われる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書き忘れもあるが、記録を残すことで月毎の通信やプラン作成、面談、受診に活かすことができている。		A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況や気づきが時系列で記入され、職員名の記載もあり、全職員が閲覧できる。 職員独自の略語の使用、一部油性ボールペン以外の利用等がみられる部分について改善の余地がある。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前中に手厚いシフトを組み、ストレッチャー浴を取り入れる等、入浴を諦めない支援を行ったり、ご家族に代わっての通院支援など行っているが、コロナ禍で幅は狭くなっている。	現在、十分に行われている。コロナ禍で会えない中、こまめな連絡があることは家族にとって安心につながるので継続してもらいたい。それによって、互いの連携がとれ、新たなニーズが生まれたときに把握しやすくなると思われる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input type="checkbox"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	車いすのまま利用できる理美容での外出は再開したが、コロナ禍により、地域とのつながりは断たれた状態になっている。今後の課題である。	国はグループホームに介護相談窓口を置く取り組みも検討しているようでもあり、実践に基づく介護方法を地域包括支援センターと連携しながら発信する、カフェの開催など期待したい。過去の介護体験も、今悩んでいる人の役に立つかもしれないので、ご家族とご本人の歴史や力を活かす意味でまとめたり伝えることも可能性として検討してはどうか。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望のかかりつけ医への受診や訪問診療の支援、専門科への受診を継続し、適宜家族にも報告して適切な医療を受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時の説明には可能な限り立ち合い、ホームでの生活が継続できるようなイメージをもった入院生活が送れるよう支援している。サマリーも翌日までには届けるよう努めている。		A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急搬送や入退院時、職員ができるだけ立ち会うようにしている。入院時のサマリーでは、日ごろの生活を伝えるとともに、ホームにスムーズに復帰できる支援をしている。サマリーに治療後について「本人と家族の希望欄」の項目を追加するなど、さらに医療機関との連携が取りやすくなることを期待する。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族面談時には重度化した場合や終末期の希望を確認することになっている。可能な範囲の支援、困難な事を十分に伝え、判断材料としてもらっている。希望があり、調整がつけば今後も最期までの支援を続けていきたい。		A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化と終末期をホームがどのように考え、支援するか定義を含めた指針を契約時に家族に示しており、施設の考えが伝わりやすい。家族の希望や状態が変われば、決定後の変更も可能と明文化されている他、関係機関についても図にして資料添付されており、安心につながると評価できる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に二回は消防署の方による講習をホームで開催している。外部研修で医療についてのテーマの際にも職員を参加させた。講習内容について、現場の希望を反映させる形で不安を軽減し、実践力を高めていく取り組みを行っている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を年に2回以上行う事とし、夜間の避難訓練も実施している。少しずつ訓練の内容を充実させていきたいが、地域との協力体制については隣家が遠い、高齢者世帯が多い、など困難が多い。町との協議を続けていきたい。	大規模災害発生時は連絡方法が遮断されることを前提に、再度連絡報法の確認が必要だと思われる。職員不足により一時的に帰宅いただく可能性を考えると、ご家族の状況や自宅の位置、様子などを確認することも必要。一つずつ訓練に取り入れて、家族や運営推進会議などの協力を得て取り組んではどうだろうか。	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住宅が点在し、高齢者世帯が多い地域特性からやむを得ないことではあるが、地域との協力体制の部分について取り組めていないという課題が残る。独自の訓練は定期的に行われているので、今後は町や消防団、関係事業所等も交えての災害対策の構築や訓練を検討することを提案したい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	呼称についての確認を行ったり、言葉のかけ方について委員会等でも取り上げるようにしている。関係性ができると砕けた表現になりがちなので、今後も注意して取り組んでいく。		A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングで話し合い、内部研修で学びプライバシーを損ねない、尊厳を重視した声掛けを意識付けている。現場で気になる対応については管理者が指導する他、家族アンケートや面談等で率直な意見を聞く機会を設け、改善につなげる努力をしている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度の方が多いため、介助スケジュールからリズムができていない部分は否めないが、軽介護度の方も共同生活の場であることを理解して、集団性を受け入れておられる部分もあり、ネガティブな評価のみとは考えない。思考を固定化せず、今後も希望に沿った支援について可能性を探っていきたい。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立を書く、食器を拭くという前後の参加はできているが、調理や献立作りまでは難しいことが多い。季節の食事などを話題にだすことでより楽しみに繋がるような支援は努めていきたい。		A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の食べたいものや好みを時折話題に出しながら3食ともホーム内で調理している。台所から音や匂いがすることで、食事が楽しみになるよう考えられている。リビングには入居者が献立を書くホワイトボードが設けられ、そこに献立とともに

							<p>想いの一言も添えて書いてもらう、食器ふきなどの片づけに参加してもらうなど、可能な取り組みを継続している。</p> <p>重度化に伴い、形状や内容の工夫、普通の食事がむずかしければ捕食で補うなど、一人一人の状態に合わせて支援をしている。</p> <p>災害時備蓄を含めキッチン以外にも食材が豊富にストックされている。</p>
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせた量、形状、内容を心がけている。基本は家庭料理だが、美味しく食べられることを目的として、市販の介護食品等も取り入れつつ、バランスが偏らないよう支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	自力でできる方は声掛けや見守りで支援しているが、うがいも困難な方が多く、スポンジや口腔ケアティッシュ対応も多い。状態に合わせた支援に努めている。今後は専門科による研修などを受けていきたい。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>重度の入居者が多く、開口やうがいすら困難な事が多いが、段階に応じて物品を揃えて支援している。</p> <p>口腔ケア専門職の介入はないが、必要に応じて訪問歯科診療につなげる他、職員が外部研修を受ける機会を設けることも検討されている。</p>
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	自立に向けた取り組みは難しいが、オムツの種類の見直しやポータブルトイレの導入、排便コントロールなど、気持ちよく過ごしてもらえるよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>排せつ記録表によりパターンを把握して細かく対応している。重度の利用者が多く、自立支援の面では困難を感じているが、適切なオムツを選ぶ、ポータブルトイレ利用など、個別の支援をしている。</p> <p>認識しやすい表示、手すりの位置、本人の視覚を妨げない敷物の選定など、認知症特性に寄り添っている。</p>

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	希望の時間やタイミングに合わせての入浴支援は困難な現状。週に2～3回順番に入浴できるように、計画入浴を実施しているが、一般浴、シャワーキャリー、ストレッチャーなど、安全安楽に入浴できるよう配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	睡眠導入剤を使用している方はおらず、自室でゆっくり安眠されている。昼食後は午睡をとられる方も多い。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新しい薬が出た場合は申し送りを通じて共有するようにしている。特に、使用に注意がいるもの、副作用が強いものはそれらの情報もミーティング等でも共有するようにしている。職員がすべて理解し覚えているかは課題がある。		A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一包化された薬を服薬タイミングと利用者ごとによって事務所内で保管し、服薬記録をつけながら支援している。担当を決め、食事の時に一斉配薬をしないなど誤薬を防ぐ工夫をしている。変更時は日誌やミーティングで伝達し共有している。今後、入居者が不意に事務所内に立ち入る可能性を考え、簡単に手に取れないような工夫も検討するとなお安全性が増すと思われる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でもあり軽介護度の方が少ないため、新しい取り組みの創出まで手が回らないことがあり、課題となっている。ドライブや写経など、好まれる楽しみは、現場の判断を優先して、柔軟に提供できるよう努めている。	コロナ禍で外出は制限があると思うが、季節を感じる屋外の外出や、小さい商店などで自分自身の目で見て買物できる機会なども大事だと思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input type="checkbox"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でなかなかできないが、担当職員による個別支援を月に一度行っている。外出できる方はその時間を使ってゆかりのある土地へドライブしたり、	ミカン狩り、イチゴ狩りなど、自分で手に取って触れたりして五感を刺激するようなことも良いと思う。ベルマークや外気浴などを日常的な活動にすることで、地域の人と触れ合うことからできたらよいのでは。		

				ご家族の協力を得て生家を訪ねる等を行っている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	金銭の所持や使用を希望されるご家族がおられず、実施していない。希望があれば応えていきたい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	年賀状やオンライン面会などの対応はあるが、日常的な支援には至っていない。ご家族の負担があるため、今後可能性があるか検討していきたい。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ安全性を保ち、シンプルでわかりやすい館内を保つよう心掛けている。お気に入りの場所があれば椅子を用意する、テーブルに花を飾るなどの支援は行っている。季節の装飾などは追い付かずに季節外れになってしまうことがあるので、さらに取り組んでいきたい。		A. <input type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内は木目調でやさしい色調となっている。共有リビングには大きな窓から日が差し込み、デッキにはプランターに植えられた花が見える。ソファで寛ぎテレビを見たり、対面キッチンで調理の様子をうかがうこともできるなど、生活で心情を動かす空間となっている。令和4年夏に経年劣化で腐食したデッキを取替え、安全にリフレッシュできるようになった。 室温計で温湿度をチェックしながら窓の開閉やエアコン、加湿器で適切な空気循環、管理がされている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. <input type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思疎通が困難な方についての評価が難しく、体調や表情良く過ごされていることをもってできていると評価した上で、軽介護度の方に関しては、意向の間			

				き取りや支援に余地があることを含めると、総合としてB程度と思われる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かつての生活歴や習慣の再現が困難な方については、現在のADLやIADLに合わせて安楽な生活を送れるよう個別の支援を行っている。軽介護度の方に関しては、衣類を選ぶ、お化粧品をするなど、継続していただく支援をしている。40と同じ理由も鑑みて総合としてB程度と思われる。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重介護度の方が大半であり、医療面と健康観察に関しては重点的に取り組んでいる。訪問看護ステーションと連携して、希望の主治医による訪問診療や通院を支援し、希望があれば看取り迄含めた長い支援ができるよう情報共有や研修を行いながら努めている。足りない部分もあるが総合Aと評価したい。		A. <input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護度が高い入居者が多く、介護医療が一体的に必要なケースが多い。本人が自身の言葉や態度で訴えることは困難だが、安定して生活できているという結果につながっていれば、本人の状況をもとに支援を受けられている、期待に沿っていると解釈してよいと思われる。 かかりつけ医の訪問診療、通院も支援されており、連携する訪問看護ステーションが24時間体制で相談に対応、さらに週一回は健康観察に訪れ、一人一人の情報を共有して介護を支援している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「自分のペース」についての解釈が難しいところだが、重介護度の方にとっては、身体に無理の少ない介護が受けられている状態を良しと捉えると、ある程度実現できていると思われる。軽介護度の方であっても、かつての生活と今のご本人の状態のバランスを考えると再現がベストではないこともあり、評価が			

				難しいところ。総合Bとしたいが、課題を有していることを意識していきたい。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	仏壇やアルバム、人形等、馴染みのものを持ち込むことは自由としており、持ち込んでおられる方が多い。なじみのものを持ってきてしまうことで、逆に不安になられる方、破損の可能性がある場合は調整しているが望まれば妨げるものではないので総合Aと評価したい。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	馴染みの物や大切にしている物を自室に持ち込むことが可能である。本人の心身の安寧につながるものについて、状況を鑑みつつ家族と共に考えつつ、我が家、我が部屋となるよう努めている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、外出に関しては制限せざるを得ない状況が続いている。かつて参加していた地域の行事も開催されていない。自宅に帰りたいという希望がある場合についても、ご家族の意向や状況、感染対策等の問題もあり、なかなか叶えることができにくい。ドライブ等ではできるだけ行い、喜ばれるコースを選んで通るようにしている。特殊な状況下でもあるが総合C。	今は感染対策もあり難しいが、以前、敬老会で獅子舞が来たことがあったり、生家に親族が集まって面会できた時にはとても喜んで笑顔も見られた。刺激にもなるし家族も嬉しいので、コロナ禍が落ち着いたなら再開できたらと思う。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	日常生活において、見守りや助言以外の介助を有しない方に限って評価すると、新聞の購読、写経、好きなテレビの視聴、食器の片づけ、洗濯物畳みなど、不安を想起させず、軽減する範囲の楽しみは提供できている。今後の可能性を広げることを期待しつつ、総合Cとしたい。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	過半数が会話が困難な重介護度の方であるが、一方的な声掛けであっても、食事や入浴の時など、職員は声をかけて表情を読み取るように心がけている。会話が可能な方については、職員だけでなく入居者同士の会話も見守ったり、適切な介入をするなどの支援をしている。無理のない範囲で家事や活動の機会、会議等への参加を増やすことで、今後の充実を図りたい。総合B	/	<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>軽介護度の入居者とは会話や家事、ドライブなどを通じて支援を行っている。重度の入居者に対しても、やりとりができていた頃のことを想って接し、一方的であっても声掛けして、表情などからくみ取る努力を行っている。</p> <p>家族アンケートの結果をみるとA評価が多く、家族の満足を得られていると思われる。</p>
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> D. ほとんどできていない</p>	コロナ禍の影響を最も受ける分野であり、早期の収束と各種活動の再開を待っている状況。少しずつ再開されてきた部分から、間接的なかわりでも何かできないか検討していく予定。総合D	35. 36. 45 に同じ	/	/
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	「家族に面倒をかけたくない」という意向の方がおられること、在宅生活が困難となったため、家族と別居しつつも安全で安心な場で生活を送れることを第一の目標とすれば、コロナ禍であっても重大な事故もなく、職員の入れ替わりもほとんどない安定した生活が続いた一年として総合Aとしたい。課題は多くあり、取り組み始めていることもあるので、さらなる質の向上をめざして次の一年を充実させていきたい。	<p>運営推進会議開催後、アンケートで投票実施。12枚配布（複数参加のご家族は1枚配布）12枚回収</p> <p>運営推進会議を経ての総合評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている 11</p> <p>B. ほぼできている 1</p> <p>C. あまりできていない 0</p> <p>D. ほとんどできていない 0</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>職員の入れ替わりがほとんどなく安定して長く勤め続けているという環境下にあることで、ホーム全体が落ち着いて運営されている。</p> <p>馴染みの関係が続くことで入居者や家族とも安定した関係を築くことができ、家族、本人の安心の日々につながっていると評価できる。</p>